

報告 1

自然ふれあい講座

「みんなで温暖化ウォッチ～セミのぬげがらを探せ！」(全6回)を開催しました

担当：畑中健一郎・長谷川曜・浜田 崇・田中博春・陸 斉・富樫 均

近年、暖かい地方に生息するクマゼミが飯田市で確認されるなど、地球温暖化の影響とみられることが県内の自然にも起こっています。本講座では、抜け殻から、どんな種類のセミが生息しているかを調べ、セミの生息環境と地球温暖化の関係について考えます。

今年は3年目として6会場で開催しました。各会場とも親子連れを中心にご参加いただき、子どもさんたちは、みな必死になって抜け殻を探していました。長野の会場では一人で75匹集めた人もいました。集めた抜け殻は、種類ごとに分けますが、これが最初は結構難しく、みなさん戸惑います。しかし、ポイントを覚えると小学生でも比較的簡単に見分けることができ、子どもも大人も真剣な表情で虫眼鏡

を覗き込んでいました。

分類が終わったら全員の結果を持ち寄って集計します。今年は松本が267匹で一番多く集まりましたが、種数では大町が7種でトップでした。各会場の気候など周辺環境の違いが生息するセミの種類にも影響しているものと思われます。来年以降も継続的に実施して、セミの分布変化から地球温暖化の影響を探りたいと思っています。来年も多くの方のご参加をお願いします。

本講座の実施にあたっては、開催地の市や教育委員会のほか、市民団体の方や自然観察指導員の方々など多くの方にご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

開催地	長野市	松本市	伊那市	大町市	上田市	飯田市
開催日	8/5 (火)	8/6 (水)	8/7 (木)	8/8 (金)	8/11 (月)	8/23 (土)
時間	10:00～12:00	10:00～12:00	10:00～12:00	10:00～12:00	9:30～12:00	10:00～12:00
参加者数	15人	30人	6人	23人	21人	15人
採取場所	八幡原史跡公園	アルプス公園	鳩吹公園	市立大町山岳博物館	染屋の森	かざこ子どもの森公園
【抜け殻採取数】						
アブラゼミ	94	79	2	70	14	53
ミンミンゼミ	42	137		8	89	6
ニイニイゼミ	113	8			14	3
ヒグラシ		4	115	6		34
ツクツクボウシ	1					15
エゾゼミ	1	33	10	1	2	
コエゾゼミ				2	2	
ハルゼミ			9	5		
エゾハルゼミ				3		
不明	8	6		8		
合計	259	267	136	103	121	111



抜け殻の採取 (大町市)



抜け殻の分類 (長野市)